

2023年度 聖隷こども園桜ヶ丘 自己評価結果

【聖隷こども園桜ヶ丘 教育・保育理念】

キリスト教の精神を基本理念とし、児童福祉法・児童憲章に則り、健康で安全・安心な乳幼児の保育・教育を目指します。

- *愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- *一人ひとりの違いに気づき、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- *自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- *在園・地域の子育て家庭が心豊かな環境で子育てができるように支援する。

【園目標】

- ・子どもたち一人ひとりが愛され、受け入れられて、愛することを知る
- ・遊びや体験を通して心身を育て、子どもたち一人ひとりの個性をのばしていく

聖隷こども園桜ヶ丘では、「保育者の為の自己評価チェックリスト～保育者の専門性の向上と園内研修の充実のために～」を使い、職員が自己評価を行いました。自己評価結果から見えてきた園としての課題を職員間で共有し、教育・保育の向上の為に次年度につなげていきたいと思っています。

評価項目別の達成および課題状況項目	自己評価・課題
第3章「ねらい」及び「内容」 1. 保育内容「健康」 2. 保育内容「人間関係」 3. 保育内容「環境」 4. 保育内容「言葉」 5. 保育内容「表現」	・異年齢の子どもたちが自然に関わり、家庭的な雰囲気을大事にして保育している。 ・室内でも子どもたちが全身を使って体を動かすことができるように環境構成を工夫し、定期的に子どもの姿にあわせて改善していくことが出来た。 ・自然を観察したり触れたりする中で美しさや不思議さなどに気づき豊かな感性が育つようにしている。幼虫の飼育を通して変化を観察し命の大切さを伝えている。 ・子どもの表情と姿をよく見て、その場に適した言葉かけをするよう心掛けている。子どもに分かりやすく、温かい美しい言葉で話しかけている。声の大きさも常に意識

	し必要以上に大きな声は出さないようにしている。 ・絵本を通して想像力を高めたり、自分の経験と内容を結び付けたりしている。乳児は1対1で絵本の読み聞かせの中で言葉のやり取りを丁寧に行った。 ・楽器を使って表現あそびをする活動が少ないと振り返る職員が多数いた。園にある楽器を確認し整えた。また、研修に参加して園内勉強会にて共有して学んでいく。 ・リトミックは子どもたちが好きで各年齢楽しむことができています。
第7章 子育て支援	・保護者が子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるように、保護者とのコミュニケーションを図るようにしている。 ・子育てについて保護者からの相談に応じ、共通理解を得る為に懇談会や個別面談等の機会を設けている。 ・PPK（パパ会）を年間4回程度企画している。父と子の遊びが広がり、父親通しのつながりの機会をなるべく支援している。 ・親子ひろば事業を通して地域の子育て家庭の遊び場の提供や育児相談等支援の場となるように支援している。
総評	・研究テーマを子どもたちが主体的に遊べる保育環境の構成について取り組んできた。今年度は講師を定期的に迎えてアドバイスを受けながら学んだ。乳児クラスは、各クラスが子どもの発達段階を踏まえ子どもの姿と照らし合わせて月に一度の乳児部会にて子どもたちが主体的にあそべているか振り返りを行い修正していくことが出来た。今後も継続していく。 ・自己評価の結果から見えたことは、職員間で共有して次年度に活かしていく。